

ひまわり



第16回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 田中 妙子 様

151号

令和2年5月10日

- 2 創立40周年、ロゴマーク発表
40周年特別企画 ● 40年前、あの日あの時
- 3 施設長就任あいさつ / 田原福寿園別館オープン
- 4 ケアサポートシステム導入について
- 5 新入職員歓迎式典及び新入職員研修会
- 6 ▶ 7 新入職員紹介
- 8 田原福祉専門学校移管に関する調印式
- 9 連載vol.42 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 10 ▶ 13 各施設トピックス
- 14 福寿園ニュース 15 家族会だより
- 16 連載 ● 外国人介護士 リレーインタビュー
連載 ● ボランティアさんいつもありがとうございます
連載 ● New ひまわりギャラリー

社会福祉法人福寿園 創立40周年ロゴマーク制定

社会福祉法人福寿園は、おかげさまで令和2年5月9日に創立40周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様方の温かいご支援ご協力の賜と、心より御礼申し上げます。

このたび、創立40周年を記念し、ロゴマークを制定いたしました。福寿園創始の理念に基づいた不変的経営理念、先を見据えた経営ビジョンを始め、職員の利用者に対するやさしく、あたたかく、親切な気持ち、困っている人たちを決して断らない社会的使命感、食事サービス、認知症ケアなどサービスブランドに対する情熱、先駆的にグローバル人材の受入れを模索していく開拓者精神、新しい事業への挑戦等…。このような、福寿園の根底に流れる魂を「FUKUJUEN SPIRIT」という言葉で表現しました。「SPIRIT」という言葉には、魂、精神、情熱、信念といった意味があり、職員に“福寿園魂”として誇りを持ってもらいたいという思いがあり、モチベーションアップの効果を期待します。

これまでの社会情勢、制度、利用者層の変化の中、40年間で愛知県内19拠点、職員1,600人までに成長させていただいた福寿園が積み重ねてきた「今までを」、ダイバーシティ、多文化共生、人口構造の変化、人生100年時代等に変化していく「これからに」深化させていくことを、40周年の節目に掲げるテーマといたしました。

FUKUJUEN SPIRIT

～今までをこれからの～



福寿園が 生まれた年の できごと

今から40年前の昭和55(1980)年5月、福寿園は創立しました。
その年にどんな出来事があったのか、写真とともに振り返ってみましょう。

ルービックキューブ大人気

ハンガリーのルービック教授が発明した立方体パズル「ルービックキューブ」。世界中で大ブームとなり、日本でもこの年の七月に発売されるや爆発的なヒットに。発売から八カ月で四百万個以上の売上を記録し、海賊版まで出回るほどの超人気ぶりでした。



皆んなが夢中になったルービックキューブ

モスクワ五輪ボイコット

モスクワオリンピック前年に起きた旧ソ連によるアフガニスタン侵攻を理由に、アメリカをはじめとする西側諸国がボイコット。日本を含む約50カ国が不参加という、政治色の強い大会となりました。なお、今年7月23日から東京で開催予定だったオリンピック競技大会も新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、翌年の2021年に延期となりました。



モスクワ五輪不参加決定

40年前、あの日あの時

40周年特別企画 ①

就任あいさつ

令和2年4月1日付で2人の施設長の人事異動がありましたのでご紹介いたします。



養護盲人ホーム 福寿園
施設長 浅野 修良

4月1日より養護盲人ホーム福寿園の施設長に就任いたしました浅野修良と申します。

養護盲人ホーム福寿園は、愛知県初の視覚障害者施設として開設され、40年を迎える法人の礎である施設の施設長という職責の重さに、身の引き締まる思いです。長年培った伝統をしっかり受け継ぎ、今一度原点に立って、奉職させていただいた36年の経験を活かし、入居者・家族の満足、職員の満足に向け頑張っております。

創始者の志、法人の理念である「愛と感謝と奉仕」の経営理念を常に念頭に置き、職員皆で協力し合い、入居者の方々が幸せと生きがいのある生活が過ごせるよう努めていきます。また、ご家族、地域の皆様から愛され、信頼していただける施設になるよう精進して参ります。今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。



ケアハウス 武豊
施設長 鶴藤 弘康

平成16年に初めて福寿園に奉職させていただきました。様々な職種を経験させていただきました。其々に思い出深い体験でしたが、中でも私にとって大切で忘れられない良い経験となったのは、田原福寿園でケアマネジャーとして勤めたことでした。期間にして3年弱と、キャリアからすると僅かな日数ですが、知らない土地での初めての仕事は、これまでに経験したことのない密度の濃い時間だったのを今でもはつきりと覚えています。

この4月から縁あってケアハウス武豊の施設長として奉職することになりました。私は決して器用でも賢いタイプの人間でもありませんが、職務に対してはできる限り誠実でありたいと常々思っています。そのためにもこれまで積み重ねた経験が無駄にせず、今後は入居者目線に立った施設運営を、愚直に取り組んでいきたいと思ひます。

「別館」誕生!

田原福寿園

3月16日に竣工を迎え、これまでの新館を改め「南館」と名称変更し、さらに2ユニット20名の入居者を迎える「別館」が、新たに増築整備されました。職員公募により「雅・和」と命名された2ユニットは、ゆったりとした居



室空間はもとより、リビングや共有スペースも穏やかに過ごせる工夫が随所に凝らされています。窓越しに広がる四季の花々は、人々の心に潤いを与えてくれることと思います。一人ひとりの生活を大切に、いきいきとした毎日が過ごせるよう、職員一同がんばります。感染症対策、最新の見守りシステム等の導入（詳細は4ページ）で、入居者への安心安全の住まい「南館・別館」が、この春オープンしました。

ケアサポート システムの 導入について

田原福寿園



田原福寿園では、ユニット型増築に併せて既設ユニットを含めた全ユニットに、コニカミノルタ株式会社が開発したケアサポートシステム（以下、CSS）を新たに導入しました。

機能の紹介

CSSは、居室内の天井に設置された行動を分析するセンサーと職員が携帯するスマートフォンを連携させることで入居者様の状態を把握することができます。

1. 「見て行動」

起床、離床、転倒・転落、などをセンサーが検知し、通知することで映像をスマートフォンで確認することができます。そのため、介護職員は状況を見て判断することができます。

※プライバシー保護の観点から、通知がない限り、映像を確認することはできません。

2. 「安否確認」

呼吸による体の微細な動きを検知し、異常がある場合にはスマートフォンに通知されます。夜間帯など職員が少ない時間帯の負担軽減に繋がります。

3. 「転倒・転落時」のエビデンス

転倒・転落が発生した際には、事故前後の状況が動画で記録され、原因究明や適切なケアに役立てることができます。

4. 「情報共有」

スマートフォンを活用することで、リアルタイムで情報を配信することができ、記録・情報伝達の時間を軽減することができます。

CSS導入に向けて

令和2年4月導入へ向けて2ヶ月前からシステムの運用について準備を開始しました。

今回法人で初めて導入されるシステムということもあり管理者向けの研修とスタッフ向けの研修を複数回実施し、中にはスマートフォンの扱いに慣れていない職員もいたため基本的な操作方法からCSSの運用におけるルール化について専門のサポートスタッフより丁寧に説明が行われました。

システム導入により今後に期待できること

介護職員の負担軽減がこのシステムに期待する最大の理由です。加えて、ICT機器を導入したことでその拡張性に期待し、介護職員の動き方・働き方を変化させ、より質の高いサービスをお届けしていきます。





令和2年度 新入職員歓迎式典 及び 新入職員研修会

4月1日に新入職員歓迎式典が行われ、新たに福寿園の職員として72名の職員を迎えることになりました。新卒者・中途採用者を始め、EPA介護福祉士など、様々なご縁により福寿園に仲間入りしました。

介護サービスの知識と技術、各種規程や業務規律など、講義中心の内容でしたが、皆とても真面目な姿勢で受講しており、これから頑張っていくという強い意欲を感じます。

社会的に大変な時期ですが、法人創立40周年の記念すべき年に採用され、未来の福寿園や地域社会を支えていく人材になってもらえることを期待します。



辞令交付



誓いの言葉



研修風景



令和2年度

4月1日付

新人職員紹介

今年も各施設に新人職員が配属されました。
どうぞよろしくお願ひします。

田原ゆの里



チャリティー

養護盲福寿園



左より 荻原由衣、堀内虹甫

田原福寿園



上段左より 中川晶午、東 駿佑、森野光貴、大久保鉄平、大竹啓友
下段左より ダニカ、藤井志保里、岩月優菜、アイリス、丹羽琴美、水藤千晃

花の里



穴井 望

東三河
地区

あい福の里



川口幸子

昭和の里



左より 西川真澄、桑名美晴

渥美福寿園



左より 川口裕美子、鈴木侑季

武豊福寿園



左より 田代ほのか、ベルナディス、松本あすか、森田悠衣

くすのきの里



上段左より 新美静香、森本洋子、安田 忍、石川広空、武田寛司
下段左より マニリン、元野朱里、松本陽子、梅村春香、重野伶奈

東海福寿園



上段左より 浪口航輔、中川友希、吹田みさと、日高 彩
下段左より 島村詩織、小島舞香、寺西美由紀

ちた福寿園



左より 溝口絵里、松岡千晶

知多地区

豊田福寿園



上段左より 青木峻馬、那須雅幸、板倉加容子、坂本敏枝、佐藤麻衣子
下段左より 加納しおり、大久保 舞、牧 咲杏、シリアン

みなみ福寿園



上段左より 石崎佳奈、龍川由美子、佐藤志紀、岡本章吾
下段左より 黒田菜月、岡本陽子、寺田佳加

ひまわりの街



左より 鳥居亮太、浅岡紫華、山田結菜、伊藤瑞姫、
山本彩可、古木香菜子

ひまわり邸



上段左より 川上美鈴、富田奈美、飯田里枝、外山由美子
下段左より 前川柚奈、市川千遥、渡邊康伸

豊田地区



田原福祉グローバル専門学校 Tahara Global College of Welfare

田原福祉専門学校の移管に 関する調印式

令和3年4月に田原市立田原福祉専門学校の運営が社会福祉法人福寿園になり、新しく生まれ変わります。



田原市立田原福祉専門学校の維持継続を目的として、3月23日に田原市と福寿園の間で「田原市立田原福祉専門学校移管に関する覚書」を締結する調印式が行われました。

移管については、田原市からの意向を受け、福寿園が合意したもので、令



田原市立田原福祉専門学校 移管に関する覚書調印式

和3年4月からは、民営の新学校としてスタートします。

元々の田原福祉専門学校の教育理念と教育目標を引き継ぎつつ、新学校名は「田原福祉グローバル専門学校」とし、ICT化、グローバル化していく介護新時代に求められる人材を育成します。

24年の歴史を持つ校舎ですが、老朽化箇所の修繕も含めたりリニューアル工事も行います。新しい「たっぶく」にどうぞご期待ください。

連載 42

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



おばあちゃんのおいしいタイ焼きを頬張る孫たち

私は昭和4年1月20日に、田原市（旧渥美町）伊川津で、二人姉弟の長女として産まれました。父は早くに亡くなってしまったので、母が百姓を行い、私は祖母に背負われ育ってきました。小学校までは行きましたが、卒業後はアサリを掘って家計を助けていました。

結婚してからは主人と青果業を営み、夏はすいかやメロン（ウリ）、冬はキャベツを農家から買い付け、市場に出して生活をしていました。40歳頃には伊勢湾フェリーの発着場付近で、大アサリ（ウチムラサキ）を焼いて一皿三個100円で売っていたこともありましたが、50歳になった頃から夏はマスクメロン、冬はタイ焼きを売り始めました。借りていた土地の立地条件が良かったこともあり、また、その頃たまたま子門真人の「およげたいやくくん」の曲が大ヒットし、爆発的にタイ焼きが売れました。

タイ焼きの作り方は、豊橋の知人から教えてもらいました。豆にはこだわり、北海道から仕入れて作っていました。一時、北海道の小豆農家が天災で苗が流されてしまい、経営の危機にも陥りましたが、タイ焼き屋を営んでいる時はそれ以外考えられず、一生懸命でした。苦労したことは、閉店後も餡と皮の仕込みをするため、夜遅くまでか



高澤 敏子
(渥美福寿園)

プロフィール

生年月日…昭和4年1月20日
年齢…91歳
出身地…田原市伊川津町
好きな言葉…健康

かってしまい、睡眠があまりとれませんでした。冬はタイ焼き屋の仕込み、夏場もまた忙しく、休める時間も少なかったもので、趣味を持つ時間もありませんでした。餡の味付けは砂糖、ざらめ、小豆、塩、卵などを入れて、3時間以上煮込みます。たくさん作る時には500人分位の餡を作っていたこともあり、日曜や祝日にはお客さんがたくさん来てくれるので、前日は仕込みがいつも以上に忙しかつたです。10個や20個と買っていったくれるので、焼くのも大変でしたが、たくさん買ってくれる人にはおまけをしたリ、お客さんとの会話も楽しみました。



タイ焼き屋で忙しい毎日(左はご主人)



ケアハウス 武豊

手作りマスクでお花見～

新型コロナウイルス対策の一環として、有志の皆さんと職員でマスクを手作りしました。
今年はお外出先でのお花見をすることができないため、お天気の良い日に手作りマスクを付けて、施設内の桜を観賞した後、甘酒を楽しみました。



豊田福寿園 ストリートピアノ

希望を持って、明るく楽しく暮らすこと…今、どの世代の方々にも共通した願いだと思います。私たち豊田福寿園では、「音楽を通して、人と人との大切なつながりを今一度、一人ひとりの気持ちを和やかに」そんな想いで、ストリートピアノを設置しました。経験のある職員は流れるように、経験のない職員は一本の指で一生懸命に音を奏でます。その音の先には、施設全体を包む柔らかなピアノ音と、たくさん笑顔と笑い声が溢れています。



ひまわり邸グループホーム 祝！百寿



グループホームに入居されている金澤トシエさんが、3月25日に100歳の誕生日を迎えられました。

誕生日会では職員お手製の桃色のちゃんちゃんこを羽織り、とてもうれしそうに踊られていました。息子さんからの花束をお渡しすると、「嬉しいわ」と満面の笑み。

お祝い膳はトシエさんの好物をお重に詰め、花形に盛り付けられた赤飯や、大好きな鰻を「美味しいね」と嬉しそうに召し上がっていました。また、鯉や桃、薔薇をあしらった練切のバスデーケーキも「綺麗ね」と喜ばれていました。

他の入居者や職員も100歳のお祝いと一緒に行うことができ、笑顔が溢れた一日となりました。

田原福寿園 花より団子

うららかな日差しが園内の花々を色づかせ、春の訪れを感じさせてくれる季節。本館の中庭では、樹齢30年を超える桜が満開の時を迎えました。みなさんにお花見を楽しんでもらおうと桜の樹の下に陣取り、花びら舞い散る中でお花見弁当を広げました。それまで桜を見上げていたみなさんの視線は、お花見弁当に釘付け。「外で食べるお弁当は、特別おいしいねえ」と、にぎやかなお花見のひとつときとなりました。



昭和の里デイサービス

スイーツバイキング



4月20日、昭和の里デイサービスセンターにて昨年12月に大好評だったスイーツバイキングが開催されました。ショートケーキ、

マッターホーン、栗せんざい等西洋のスイーツが並び、普段とは別腹で、皆たくさん頬張ってくれました。職員も一緒に食べて「美味しかったね!」と声掛けしていました。終わり掛けには、早くもまた開催してほしいとの声もあり、大満足のおやつとなりました。

東海福寿園デイサービス
お風呂をリニューアルしました!

開設以来、利用者の皆さんに大人気だったデイサービスの檜風呂を、この度、リニューアルさせて頂きました。檜部分を白地の御影石に貼り替え工事を行い、清潔感のある明るいお風呂に生まれ変わりました。御影石は足が滑らないように加工もしてくれてあり、「かっこよくなっただねえ」「いい風呂だ」と利用者の方々からも好評いただいています。新しくなったお風呂と共に、皆さんへ極楽なひとときをお届けしていきます。



花の里

お楽しみクラブ〜カラオケ大会〜

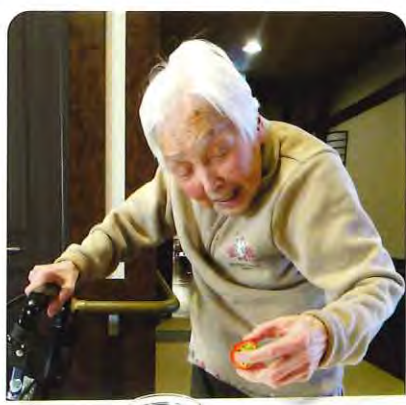


特養とグループホームの入居者、ショートステイ、デイサービスのご利用者の中から歌に自信のある方を募り、3月のお楽しみクラブでカラオケ大会を開催しました。職員審査員3名を控えた少し緊張感のある雰囲気の中、「銀座の恋の物語」をデュエットされる組もあれば、十八番の「瀬戸の花嫁」を歌われる方など、皆さん見事な歌唱力を披露してくださいました。参加された皆さんも馴染みのある曲では、一緒に口ずさんでおられました。

表彰は「優勝」、「準優勝」の他に、「最高の応援で賞」や「ナイスで賞」等、愉快的表彰もあり、最後まで会場にいる皆さんからは笑顔や笑い声が溢れていました。

田原ゆの里グループホーム
苺パーティー

毎年、市内の農園へ苺狩りに出かけますが、コロナウィルスの影響もあり外出が難しくなっていました。グループホームでは、苺が大好きな入居者のために苺パーティーを行いました。農園で朝採り苺を購入し、アイスクリームや生クリームを用意し、ご自分で好きなだけ器に盛り付け、



お手製のパフェを作り食べてもらいました。いくつでも食べられると言われ、10個以上苺を食べられた方もみえました。皆さんの幸せそうな笑顔が印象的でした。

春は牡丹餅

渥美デイサービスセンター

春のお彼岸を迎えて、地域によっては仏壇やお墓に、のり巻きやいなりずしをお供えするところもあるのですが、渥美デイサービスでは定番のぼたもちを作りました。春のお彼岸は、牡丹の花が咲く時期なので『ぼたもち』と言い、小豆は秋に育ち収穫されるので、固くなった小豆を使うためこしあんにするのが多いそうです。そんな話を交えながら利用者と一緒にあんこやきな粉をまぶしたぼたもちを作っていました。昔は家でもよく作ったと言っ方もいい、昔話にも花が咲きました。



やわらかな春の日差しの中で

養護盲福寿園



4月8日、鶯のさえずる春陽気に包まれながら、四季の丘にて花まつりが行われました。抜けるような青空のもと、気持ち静めて皆で読経し、一人ずつお花を供え、お釈迦様に甘茶を掛けて手を合わせました。

四季の丘は観音様の修繕に伴い散歩道が整備され、名誉理事長ご夫妻の胸像へも手すりを伝って訪ねられるようになりました。桜が咲き誇る四季の丘をゆっくり歩き、お楽しみくじを引いて帰りました。穏やかな笑顔が広がる一日でした。

いきいきプラザリニューアル計画

ひまわりの街デイサービスセンター

予防のご利用者により多く利用していたできるように、現在予防フロアのリニューアルを計画中です。地域包括支援センターからのアドバイスをもとに、具体的に介護予防のリハビリや男性利用者がリラックスできるような環境、時代に合わせたおしゃべりや落ち着けるような雰囲気づくりを行っており、早くも7月以降にはリニューアルできるように計画・準備をしています。コロナウイルス流行の影響もあるので順延も



あると思いますが、心機一転準備を進めていきたいと思っています。

筍掘り

くすのきの里デイサービスセンター

3月下旬に敷地内にある竹藪で、利用者職員で筍掘りを行いました。応援部隊と実行部隊の二手に分かれ、



美味しい筍を目指していざ！「こっちの筍の方が大きいぞ」「掘るのは大変だ」「頑張っ！」と大きな声

が飛び交っていました。掘った筍は厨房で筍ご飯にしてもいい、「春だね」「初物だね」「美味しいね」と笑顔で召し上がっていました。桜を見ながら筍ご飯を食べ、春を満喫しました。



ケアハウスパシフィック

春が来た！

徐々に暖かくなり春の訪れを感じられるようになりました。世間では新型コロナウイルスが流行し、外に出掛けることが困難になっています。そのような中ですが、入居者の方にも少しでも季節を感じていただけるように、日中過ごされるホールの横にお花を植えました。「あれはチューリップかな？じゃあ春だね」と、会話や笑顔に花が咲きました。1日でも早く安心して生活に戻り、また綺麗なお花を見に行ける日が来ますように。



みなみ福寿園

手作りマスクをたくさんいただきました！

新型コロナウイルスによる感染予防のため、マスクの需要が盛んになり、みなみ福寿園でも2月に入るとマスクの発注が困難になりました。当面の間は在庫のマスクを使用していたのですが、発注できる見込みもなく、職員の間でもマスクを手作りし始めました。しかし、なかなか数は足りず、そんな折、入居者ご家族より「良かったら使ってください」「アルコール消毒もしてあります」と、130枚ほどの手作りマスクが届きました。とてもかわいい柄のマスクで、全職員がマスクをしている状況下では、入居者に対する圧迫感もなく和やかな雰囲気を醸し出してくれました。この非常事態に際して、ご家族、地域の方々、業者の皆さんのご協力でみなみ福寿園が成り立っていると、改めて痛感しました。

ケアハウスきぬうら

創作クラブ〜春の飾りつけ〜

4月7日、ケアハウスきぬうらでは、創作クラブで、施設の中の春の飾りつけを入居者さんたちに行っていたきました。今、世間では新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出ている中、外出を自粛している入居者さんたちは、少しでも気持ち良く施設内で過ごせるようにと、皆さんマスク姿で頑張ってお花を飾ってくれました。「みんなで飾ると楽しいね」施設の中では笑い声が響いています。早くみんなで外で大笑いできますように！



グループホームちた福寿の里
畑の恵

3月に入居者と一緒に種から育てたスナップえんどうが、今や大きくたくさん実っています。入居者の中には農業をされていた方がいるため、色々教えていただきながら育てました。

びます。種から育てたえんどうは無農薬で新鮮で、皆さん「美味しい!!」と言われ喜ばれています。他にもじゃがいもやほうれん草など育てているので、次回の収穫はじやがいもかな？

収穫時には、散歩がてら「これはいい!」「それはまだ早い!」と入居者の言葉を受けながら、美味しくそなうスナップえんどうを収穫しています。収穫したスナップえんどうは、入居者と一緒に調理し、食卓に並



家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、各施設での家族会総会開催を中止しました。令和元年度活動報告・決算報告及び令和2年度の活動計画・予算案等、書面表決とさせていただきます。

今年度新役員体制は次の通りです。(役員の変更があった施設のみ掲載しています。)

監事 幹事 副会長 会長
大藤眞由美様 高井謙一様 杉浦孝児様 寺田恵子様 永井辰夫様 本田雅彦様

花の里

監査 幹事 副会長 会長
渡會誠之様 小川文丸様 小久保郁夫様 永井茂章様 川口康美様 吉川孝光様 石井富士恵様 東洋子様 古橋照夫様

渥美福寿園

監査 幹事 副会長 会長
永田正男様 寺田三十四様 山田加代様 齋藤捷子様 河邊勝巳様 鈴木幾雄様

田原ゆの里

監事 世話人 会長
成田直幸様 永井修様 齊藤五子様 金澤康弘様

ひまわり邸

監事 副会長 会長
附柴吉子様 神谷たか子様 黒川敏和様 堀田進様 内藤光夫様

ひまわりの街

監事 副会長 会長
深津吉信様 宇田川美穂様 小野英樹様 中西マチ子様 上田博幸様

みなみ福寿園

顧問 監事 副会長 会長
永田暉様 野島厚子様 中村喜美子様 宇野晃様 梶原守則様 飯田正典様

豊田福寿園

監事 副会長 会長
平野良典様 中尾マミ子様 松本直明様 阿知波満様

ちた福寿園

監事 世話人 世話人代表
伊藤弘孝様 久保田泰子様 三浦政人様 栗野剛宜様 井出勝美様

東海福寿園

監事 世話人 世話人代表
衛藤和夫様 荒江幸枝様 森千津子様 井上和雄様

くすのきの里

顧問 監事 副会長 会長
平井道生様 渡邊泰子様 畑中美恵子様 田中敏春様 鳥居智宏様 石川幹夫様 福島勤様

武豊福寿園

ボランティアさんいつも ありがとうございます

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

ちた福寿園

キャサリンとゆかいな仲間たちの皆さん



「こんにちは♪こんにちは♪福寿園の皆さん♪」と軽快な挨拶から始まる歌は、一気に皆さんを笑顔にしてくれます。地元、大興寺にお住まいの『キャサリン』さんは、CDも出されているプロの歌手です。金髪にサングラス姿は、何か楽しいことが始まるんだなと、ワクワクさせてくれます。『ゆかいな仲間』の皆さんも、大きなまのぬいぐるみやピアノ演奏者等、個性あふれるメンバーで、場を盛り上げてくださっています。皆さんと一緒に歌えるよう歌詞ポスターも準備してくださったり、時には職員も加わって踊ったり。皆さんお馴染みの歌では、目を輝かせて大きな声で歌う姿や、涙を浮かべる方もいらっしゃいます。オリジナル曲では心にずっと入り込むメロディで、皆さん聞き入っています。月1回、今後もこの様な機会をいただき、皆さんと楽しいひとときを過ごしていきたいです。



福寿園では、現在63名のフィリピン人、7名のベトナム人介護士が10施設に分かれて働いています。毎月一人ずつ紹介します。

外国人介護士 リレーインタビュー

- Q なぜ日本に来ようと思われましたか？
A アニメを見て、日本の文化に興味を持ったからです。
Q 日本で働いてみてどうですか？
A 日本はとても便利で、仕事もそれほど難しくありません。
Q 趣味は何ですか？
A 音楽、ゲーム、アート、デザイン、日本食です。
Q 好きな日本のお菓子は？
A ポッキー。チョコレートが好きなお菓子もあり、甘いばかりでなくしょっぱさもあるので、何本でも次々と食べられます。
Q 自分を動物に例えると？理由は？
A 犬です。その理由は、人懐っこいのと、人見知りをしないからです。
Q 好きな日本の言葉は？
A 「大丈夫」はとても便利な言葉で、日常生活でしょっちゅう使います。
Q 将来の夢は何ですか？
A マイホームを持つことです。
Q 最後に一言。
A 前進し続けます！



ヒソコ ニカル マリー-ゲルカナオ
ニックネーム
ニカル
東海福寿園



New ひまわり ギャラリ

入居者・利用者さんの作品
をご紹介します。

作品

お花紙飾り(桜の木)

ひまわりの街デイサービス利用者の皆さん
白や黄色を入れながら、大きく
豪華な桜の木を作りました。
満開の桜でお花見気分を
楽しみました。



令和2年5月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
■理事長／山田浩三 <https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。